

# よしかわ通信

E-mail kyudaiji@aqua.ocn.ne.jp



## りんどう 涼道

初夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素はひとかたならぬ御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

北海道の夕張市が財政破綻をしたことは、全国的にニュースとなり、財政困難な市町村に大きな波紋を呼んでおります。高萩市も決してひとごとではなく、財政的には多々問題があります。財政危機を乗り越える手段として、議員削減の声が高まっておりますが、単純に減らせば良いという問題ではないと私は考えております。他市町村で行われている、税金等の滞納者に対する徴収体制を強化することも検討すべきでしょう。

今後とも、私なりに最善の努力を尽くしてまいりたいと思っております。皆様方の御理解と今後の御協力および、御意見、御指導、御要望をよろしくお願ひ申し上げます。



**発行**

高萩市議会議員

よしかわどうりゅう  
**吉川道隆**

高萩市安良川686  
TEL 0293-24-0833  
FAX 0293-22-3340

平成19年3月議会

**議案質疑**

### 条例改正「議員定数の削減」の提案に対して

#### 提案内容

平成18年度から、19年度にかけて、ゴミ処理費用が5000万円の増になることが高萩市の財政負担である、高萩市は議員数が多い、増となった負担分を議員を減らすことで解消する、6人減らすと4200万円の節約が出来るから、ちょうどゴミ処理に反対した議員が6人だったからその議員は必要ない。よって、議員の定数を18から6減らして、12人にしてはどうか。

#### 質疑

経費が増えたから、支出を減らすために議員を削減する・・・これでは、あまりにも短絡的である。実際、今回のゴミ処理経費の見直しで、ごみ処理費用は減った。では、議員を増やしてもいいのか？確かに議員定数は検討しなければならない、しかし、それはごみ処理費用が増えたからではなく、もっと違う面から考えなければならない。

市長は、この提案に対する質問に対し、「市長として干渉すべきではない」と言ったが、この議案の提出者は市長であり、提出者というのは、意見書をつけて提出するのだから、責任を持っていただきたい。確かに、議会へ直接請求されたものかもしれません、自分の意見というものがあるでしょう？それをここで避けて通るというのはちょっとおかしいと思いますが。私たちは、市長の実際のお考えを聞きたい。

**市長答弁▶** たとえ請求の要旨が虚構であったとしても市としては審査することは出来ない。代表者証明書の交付を拒否することは出来ない。私の意見は、議会で慎重な審議をし、判断を下されることをお願いするだけ。 ※虚構とは(つくり事、フィクション)という意味

## ごみ処理経費について

提案の出ていた「議員定数削減」の根拠となる、ごみ処理経費についてご報告します。

平成17年度は、家庭系ごみに関しては完全に、日立市に委託し、事業系ごみに関しては(株)カツタという業者に委託していたが、平成18年11月をもって、日立市との契約が切れ、その後12月～平成19年3月までは、家庭系、事業系ともに(株)カツタに委託していた。しかし、平成19年度は処理業者を競争見積りにより決定したため、処理単価が下がり、サンエコサーマル(株)という業者にすべて委託することになった。結果的に、経費としては当初予算より、約5700万円近く下がった。(別表参照)さらに、日立市に委託していた平成17年度(A)と比べても、19年度予算(B)は約1900万円(A-B)削減できることになる。

### 可燃ごみ処理委託状況

(日立市の処理単価に灰の運搬・処分費を含む)

(H 19.4.9現在)

年 度	平成17年度			平成18年度			
	種 別	家庭系	事業系	計	家庭系	事業系	計
4~11月	12~3月						
委 託 先	日立市	(株)カツタ		日立市	(株)カツタ	(株)カツタ	
单 価 (税込・円/t)	26,711		42,000	基本額 26,711 5割増 39,206 (b) ÷ (a) 29,967	35,175	42,000	
処 理 量 (t)	4,340.81	1,802.34	6,143.15	基本額分 2,136.57 5割増分 752.99 計 (a) 2,889.56	1,314.09	1,729.82	5,933.47
処理経費 (円)	115,947,376	75,696,390	191,643,766 (A)	(b) 86,591,647 132,814,761 (d)	46,223,114 (c)	72,652,440	205,467,201

[参考] (d) ÷ (c) 31,595円/t

### 可燃ごみ処理委託状況

(H 19.4.9現在)

年 度	平成19年度						差し引き
	当 初 予 算			見 込 み			
種 別	家庭系	事業系	計	家庭系	事業系	計	
				サンエコサーマル(株)			
委 託 先							
单 価 (税込・円/t)	37,275	37,275		28,035	28,035		
処 理 量 (t)	4,300.00	1,850.00	6,150.00	4,300.00	1,850.00	6,150.00	0.00
処理経費 (円)	160,282,500	68,958,750	229,241,250	120,550,500	51,864,750	172,415,250 (B)	56,826,000

# 高萩市の財政状況について

## 高萩市は第二の夕張市になってしまうのか？

夕張市は、かつて炭鉱の町として栄えていた。しかし、石炭産業の衰退に伴い、炭鉱が相次いで閉鎖され、市の財政が厳しくなった。その後、観光産業で息を吹き返したものの、総額176億円もの資金をつぎ込んで次々の観光施設の建設や買収を重ね、これも一因となって財政破綻へ陥った。市の負債が632億円、市民一人当たりに換算するとおよそ486万円にものぼる。夕張市の悲劇は、炭鉱の会社が撤退したことに問題がある。先に撤退した会社は、市に対し10億円の寄付を行い、雇用対策に努力しているが、その後撤退した会社は、解雇された従業員や住宅を放置し、市に莫大な負担を負わせた。これらのことことが引き金となり、財政破綻へとつながった。

では、高萩市はどうか？かつて炭鉱の町として栄えていたことは同じ、日本加工紙が無くなり、イトヨーカドーがなくなった。税収が減り、雇用も減った。背景的には似ているところもある。財政状況を比較すると次のようになる。

(週刊ダイヤモンドより2007.3)

	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)	財政力指数	倒産危険度(順位)
高萩市	91.0	17.2	0.56	206.1 (804位)
日立市	83.6	12.8	0.77	171.3(1574位)
北茨城市	92.3	18.5	0.63	210.3 (686位)
夕張市	125.6	28.6	0.23	315.5 (2位)

経常収支比率(%)…財政運営の健全性を測る指標。70～80%が適正値。100%を超えると危機的な状況。

実質公債比率(%)…国に肩代わりしてもらえない借金の元本や利息の支払いがどれくらい財政を圧迫しているかを示す。25%を超えると起債の一部が制限される。

財政力指数…………この指標が大きいほど税収が豊か。1より小さい自治体は、標準的な行政サービスをするための歳出を自前の標準的な税収でまかなえないということになる。

表に示されるように、破綻した夕張市に比べれば、ずっと健全であることがわかる。近隣市町村では、日立市ほど安定はないが、北茨城市よりは高萩市のほうが健全である。適正よりはやや悪いが、現時点では、お先真っ暗というほどの危機的な状況ではない。

高萩市の財政計画の推移を以下に示す。(一般財源ベース)

(単位：百万円)

	平成17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
歳 入	8,530	8,776	8,512	8,504	8,451
歳 出	9,061	9,500	9,233	9,095	9,341
差 し 引 き	△531	△724	△721	△591	△889
累 計			△721	△1,312	△2,201
財政調整基金残高見込		1,293	573	△18	△907

2007/5/9作成

\* この推計は、現行制度や現在実施している施策を基に、平成18年度当初予算をベースに作成したものであり、今後、事務事業等の見直しを行わなかつた場合の収支見込である。

## 主な過去年度分の収入未済額

(単位：円)

区分 年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
市 税	394,572,119	403,413,967	416,672,922	381,175,299
保育所運営費保護者負担金	18,245,700	21,321,500	23,421,520	25,667,780
多賀区域農用地整備公団事業費負担金	62,868,979	75,946,218	88,463,189	103,747,456
市 営 住 宅 使 用 料	25,762,778	23,134,160	21,211,178	20,038,197
障害者住宅整備資金貸付金元利収入	3,064,468	4,117,727	5,066,371	5,760,807
高齢者住宅整備資金貸付金元利収入	3,965,553	4,170,403	4,416,223	4,600,588
國 民 健 康 保 険 税	418,119,358	439,712,242	471,135,470	465,362,445
介 護 保 険 料	2,723,300	3,474,980	3,531,960	3,648,740
計	929,322,255	975,291,197	1,033,918,833	1,010,001,312



今年度までは、財政調整基金の取り崩しによって何とか運営可能であるが、平成20年度以降は、財政調整基金も底をつくことになり、このままでは大変なことになる。したがって、今年度中には、事務事業等の見直しを適正に行い、負債がかさむことのないように考えていかなければならない。現在はそれほどでもないが、このままでは、危機感は高まってくると考えられる。

○公社の負債 さらに、一般会計以外で、土地開発公社、住宅公社の状況を考えると、現在売れていない区画が、売れた場合、値下げをして価格を設定しているので、値下げ分が償還されると計算上は大変な負債を負うことになる。トップセールスで、市長みずから企業誘致に努力しているが、こうした矛盾があることも否めない。ただそれは、経営が健全な企業を誘致できた場合、その後の税収や雇用を考慮すると、一時的な赤字は我慢して、今年度以降の伸びに期待できるかもしれない。いずれにしても、一般会計だけでなく、高萩市全体の運営を見据えていかなければならぬ。

○滞納問題 事務事業の見直しのうちの一つとして、今回提案のあった、「議員定数の削減」は重要となるだろう。ただし、議員経費を減らすことは、一つの施策として考え、それだけで経費の調整を行うのではなく、他方向からのさらなる見直しを考えていく必要がある。

今、「税金等の滞納」があちこちで問題になっているが、高萩市においても多額の収入未済額がある。市税、国民健康保険税、各負担金等、本来なら収入としてあるはずのお金が、滞納する市民がいるがために計上されない。今まで取り上げてきたが、納税は国民の義務なのだから、すこしでも徴収できるよう徴収態勢の見直しを考えるべきである。主な過年度分の収入未済額は上記のとおりである。

毎年約1億2000万円が滞納されており、累積していくとかなりの金額になる。議員削減の提案の中で、「北海道夕張市のように「再建団体」にならないように市民の力を結集しましょう」と言われているが、経費削減もさることながら、市民の力を、まずは納めるべきものを納めていただくことで発揮していただければ、収入が確保され、財政の健全化がはかれる。「行政が努力するだけで、高萩市は大丈夫なのか?」という質問があつたが、行政が努力するだけでなく、市民の協力も必要である。再建団体となれば、住民サービスの低下はもちろん、住民の流出は避けられず、一人ひとりの負担がかさんでいく。

行政に対してばかり、問題解決をゆだねるのではなく、市民一人ひとりが自覚し、市民としての責任をはたして協力していただければ、高萩市の将来は安心できるものと考えている。